

二次案内

第8回全国OV教員・教育研究シンポジウム

協力隊を日本の文化にする

～つながろう！つなげよう！
協力隊経験のその先へ～

国際理解教育

外国にルーツを持つ子どもたち

多文化共生

SDGs

教材交流・授業実践紹介
もあります！



実践発表

JICA海外協力隊員として現地での経験や帰国後の活動について発表していただきます！

★小沢 享平氏

(2015-1・モルディブ・体育)

★中村 寛子氏

(2018-1・ネパール・小学校教育)

テーマ別 グループワーク

国際理解教育・多文化共生教育・協力隊経験の活かし方などについて、テーマ別のグループワークを開催。教育現場での課題解決などについて話し合しましょう！

来場特典

ご来場特典としてJICA地球ひろばの国際理解教育に役立つ教材をプレゼント！

* JICA地球ひろば *
国際協力70周年
記念企画展も開催中！



開催日

2025.1.12 (日) 10:00-16:00

参加無料

国際協力や海外経験を教育に活かすことに興味がある方ならどなたでもご参加いただけます！

場所 JICA市ヶ谷ビル

〒162-843東京都都新宿区市谷本村町10-5

対面とオンラインのハイブリッド開催

主催：全国OV教員・教育研究会
独立行政法人国際協力機構(JICA)
後援：文部科学省、東京都教育委員会、
ESD活動支援センター

申込方法

下記URLまたはQRコードからアクセスし、申し込みフォームに沿ってご記入ください。

申込締切：2025年1月10日18:00まで

<https://forms.office.com/r/ERGHgXmvDY>

申し込みはこちらから



全国OV教員・教育研究会



実践発表

小沢 享平氏



2015年1次隊/モルディブ/体育

テーマ「協力隊経験がつなく
教材開発と授業実践」

協力隊時代は実績も残せず、今思うとそれが日本で経験を生かすできていなかった要因なのかもしれません。ですが経験は決して無駄にならない。世界に広がる母子健康手帳を取り上げた授業についてお話をさせていただきます。

中村 寛子氏



2018年1次隊/ネパール/小学校教育

テーマ「誰もが取り組める国際
理解教育を目指して」

コロナ禍の帰国から5年目。経験を生かすにはどうすればいいのか、授業での還元の方法を模索しています。学校全体に広がり、誰もが取り組める国際理解教育の実践についてみなさんに紹介し一緒に考えたいと思います。

プログラム

内容
開会式
【実践発表】 ①小沢 享平氏「協力隊経験がつなく教材開発と授業実践」 ②中村 寛子氏「誰もが取り組める国際理解教育を目指して」
感想交流(★)
パネルトーク ファシリテーター: 糺 広大氏(本会役員) パネリスト: 佐藤 真久氏(東京都市大学)、実践発表者2名
現在任国で活動中の隊員紹介① 派遣予定者の自己紹介 これから派遣される隊員が準備しておくこと
昼食休憩
テーマ別グループワーク(★) 当日、お好きなテーマにご参加下さい。 途中でグループを移動することも可能。
グループワーク(★) 「協力隊経験のその先へ」について語りあいます。
グループワークの振り返り・全体共有(★) 現在任国で活動中の隊員紹介②
総まとめ 佐藤 真久氏
JICA地球ひろばから情報提供
閉会式
懇親会(自由参加) ※飲み物のみ(★)
(★)については対面とオンラインで別進行を予定しています。

テーマ別 グループワーク

- 1) 学校教育(国際理解、多文化共生)
 - ①国際理解教育に活かす
 - ②外国にルーツを持つ子どもたちへの教育
 - ③教科学習(指導)に活かす
- 2) 協力隊応募・訓練
 - ④訓練前・派遣前相談
 - ⑤協力隊応募相談
- 3) 人生設計・学校経営
 - ⑥協力隊経験を学校経営に活かす
 - ⑦教育現場以外で協力隊経験を活かす
- 4) 実践発表について
 - ⑧小沢氏・中村氏の発表を深める

※当日、上記のテーマからお好きなグループにご参加ください。
※途中でグループを移動も可能です。
【オンライン参加者グループワーク】
オンライン参加の方は、グループ内でそれぞれテーマを決めてディスカッションしていただきます。

【お問合せ先】

JICA青年海外協力隊事務局
社会還元促進課
jvthd@jica.go.jp

JICA海外協力隊詳しい情報はこちらから↓



Instagram



@jica_kyoryokutai

FB: <https://www.facebook.com/jicavolunteer/>

【全国OV教員・教育研究会からのメッセージ】



全国OV教員・教育研究会

Facebook® -ジ-
facebook.com/zenovkk/

JICA海外協力隊として途上国での経験を得た私たちは、今の時代にこそ求められる「果敢にチャレンジする姿勢」「臨機応変さや危機対応」、「ダイバーシティやマイノリティへの寄り添い」、さらには異なる文化や価値を超えた「共生や協働」などの尊さを、グローバルな「知」として身につけた教員集団だといえます。
本研究会は、こうした経験から得た「知」を活かしている教員ひとりひとりの想いや実践を共有する場をつくり、学校・教育委員会・地域社会・市民団体等とのネットワークを強化しながら「協力隊を日本の文化」に、そして「みなさんも自分たちも元気になる」ことを目指して活動しています。